

柴岡 ゆうま

しばおか

30歳



子育て世代が政治をかえる

消費税10%「先送り」でなく
きっぱり中止を!! 日本共産党

新埼玉

2014年11月号 ●日本共産党の政策と見解を紹介します。
発行 日本共産党埼玉県委員会 さいたま市大宮区北袋町1-171-1

柴岡
ブログ



日本共産党の提案

消費税に頼らない「別の道」

あります

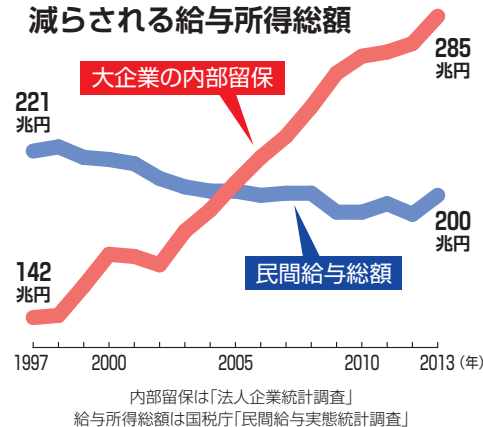
富裕層と大企業に応分の負担をもとめる 税制改革

家計でも、中小企業でも、負担能力を超えた負担をおしつけられたら、深刻な打撃をこうむります。しかし、富裕層や大企業は、税制で優遇され、負担能力は十分です。

内部留保の活用で国民の所得を増やす 経済改革

つみあがった大企業の内部留保は285兆円。この1年で13兆円も増えました。ほんの一部を活用するだけで、大幅な賃上げは可能です。

増える大企業の内部留保
減らされる給与所得総額



アベノミクスで

「好循環」どころか「悪循環」に

消費税8%への増税と「異次元の金融緩和」で、物価があがり、実質賃金は15カ月連続でマイナスに。4月～6月のGDP(国内総生産)は大幅にダウンしました。暮らしが悪化し、景気が落ち込む「悪循環」に陥っています。“大企業本位の経済対策で好循環を実現する”という安倍政権の経済失政です。

総選挙で「10%ストップ」の審判を

消費税増税で、これ以上国民の所得を奪うことは日本経済にとって自殺行為。総選挙は消費税10%をストップさせる絶好のチャンスです。国民の審判できっぱり中止させましょう。

消費税
きっぱり中止



梅村 さえこ
党准中央委員
書記局長



塩川 てつや
衆議院議員 (5期)
党中央委員

衆議院比例



国会で大活躍の吉良よし子参議院議員と奮闘誓い合う柴岡ゆうま氏

ご意見ご要望をお寄せください。

TEL/048-581-0113 FAX/048-581-0408 (日本共産党埼玉北部地区委員会) まで

—今、私たちが声をあげるとき



子育て世代が
政治をかえる



イメージキャラクター ゆうまくん

ゆしまのあゆみ

◆ 深谷で育って

1984年に生まれる。深谷で育ち、本やダジャレが好きで少年時代を過ごす。ドラマ「北の国から」をみて、北海道の大地にあこがれたのが中学の頃。「酪農家になりたい」という夢を持ち熊谷農業高校へ。

◆ 平和が原点

「勉強がしたくてもできなかったあの時代に、もうしないでくれよ」は、祖父が亡くなる直前に遺した言葉。この言葉を胸に、憲法9条を守り活かし、平和な社会をつくりたいという信念をもつ。



祖父とともに

◆ あこがれた大地へ

帯広畜産大学での学生時代、カーリング部に入部し、寒い冬を熱くする日々を送る。自分はどう生きていくべきかを考え模索していた時期に、三浦綾子の小説「泥流地帯」に出会う。「困難な道に進む生き方にこそ、真の生き方がある」と考え、政治家をめざし、日本共産党の職員道へ踏み出す。

◆ 仲間とともに

非正規雇用や長時間労働を強いる社会を変えたいと多くの青年とともに奮闘。青年のネットワークづくりに取り組む中で、妻と出会い結婚し、一男一女に恵まれる。

消費税10%増税は「先送り」でなく、きっぱり中止を

「ギリギリの生活なのに税金のせいで生活が苦しい。子どもにお菓子すら買ってあげられない」。日本共産党が取り組んだ住民アンケートに悲痛な声が次々と寄せられています。同じ子育て世代として、この辛さがよくわかります。

誰もがくらしに不安を抱えています。ところが、安倍政権は今年の4月に消費税増税を強行しました。その結果、消費は冷え込み、家計と日本経済を壊してしまいました。

安倍首相は、消費税の「先送り」で批判をかわそうとしています。国民が求めているのは増税の「中止」です。みなさんと力を合わせて、増税はきっぱりと中止させます。

「戦争する国」づくりは許さない

いま日本は、「戦争か平和か」の岐路に立たされています。安倍政権は、秘密保護法の強行や集団的自衛権容認の閣議決定など、「戦争する国」づくりを進めています。こうしたやり方に、自民党の元幹事長など保守の政治家も批判の声をあげています。子どもたちを戦場に送るような国には絶対させたくありません。

平和でこそ、命が大切にされます。私たち子育て世代が声をあげていく必要があります。

希望がもてる社会へ

くらしや平和、原発、TPP、ブラック企業…。安倍政権の暴走への怒りと不安の声が広がっています。私は、二人の子どもを持つ父親です。子どもたちによりよい社会を手渡していくために、このひどい政治を一刻も早く変えたいと考えています。財界・アメリカいいなりの政治ではなく、「国民が主人公」の新しい日本へ。日本共産党が大きくなれば、確実に政治は変わります。希望が持てる社会をつくるため全力でがんばります。

プロフィール

1984年生まれ。上柴西小、藤沢中、熊谷農業高校を経て帯広畜産大学卒業。2006年より日本共産党埼玉北部地区専従職員。現在党准中央委員・北部地区委員長。家族・妻、一男一女。深谷在住



育児も仕事もがんばるイクメン代表